

名教スタッフ版

よめよめグランプリ

名前

西川 陽祐

よ ほん
読んだ本について書いてみよう。

ひ づけ 日 付
23 6 日 月

ぺーじ ページ数
↑ 2 ↓ 3 ジ 5

ほん だいめい
本の題名

「本当の国語力」が驚くほど伸びる本（天和出版）

ほん さくしゃ
本の作者

福嶋 隆史

わたし ほん
私のおすすめの本を、紹介します。

国語は、センス（感性）の科目ではなく、論理の科目だ。算数に解法があるのと同様、国語にも、読み方、書き方がある。著者は、国語で身につける力を、言いかえる力、くらべる力、たどる力の3つの力と定義する。その3つの力を、どのように高めていったらよいのか、具体的な方法を紹介した本だ。国語塾を主賓する著者が、実例をもとに、保護者に向けて家庭で実践できる方法を紹介している。だから、とても分かりやすい。

昨年度末から説明してきたとおり、私たちの塾においても、国語力

とは、「論理的思考力」だと考えている。国語の授業では、子どもたちは、『論理エンジン』シリーズに取り組んでいる。この本は、私たちが身につけることを目指している国語力の主要ポイントを抜き出し、取り組みやすい方法として、紹介している。私たちが取り組んでいる国語の授業の代弁者といった感じだ。保護者の方から、「国語ってどうやって教えていいかわからない。」など、国語に関するご相談をよくいただく。保護者の皆さまにも、国語力を高める方法やその理論を、分かりやすく知っていただくためには、最適の本だと思う。

ぜひ、読んでみてください。